

KSN 通信 VOL.154

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2月13日午後11時8分頃、福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震があり、最大震度6強を観測しました。この地震は、2011年3月11日に発生した東日本大震災の余震と考えられ、少なくとも今後10年は大規模な余震が発生する状況が続くとみられており、地震調査委員会から注意が呼びかけられています。国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、巨大津波と東京電力福島第1原発事故という未曾有の複合災害を引き起こした東日本大震災の発生から、今年で10年という月日が経過しますが、この震災後も、地震や豪雨、火山の噴火など様々な災害が起り、多くの被害が発生しています。改めて、災害はいつでもどこでも起こりうるということを心に留め、適切な対応を取れるよう心掛けておかなければいけないのだと痛切に感じました。

■ KSN からのお知らせ

■ 排ガス測定(自社測定)の実施及び結果について

先般、実施いたしました弊社炭化処理施設の排ガス測定(自社分析)分析結果についてお知らせいたします(下表)。今回も、国の規制基準を十分に下回る結果を得られました。

廃棄物の再資源化処理(炭化)を行うにあたりましては、法律により定められた規制基準を遵守する必要があります。弊社におきましては、これからも年に複数回ダイオキシン類対策特別措置法に基づいた排ガス測定(自社・行政測定)を実施して、環境負荷に配慮した運転を行うよう精励してまいります。

過去の測定結果につきましては、弊社ホームページ上にて随時お知らせしております。



測定機器の設置および調整作業を行っています。



排ガス物質の測定装置。



排ガス測定後にばいじんを採取して分析します。

排ガス測定結果(自社分析)				
ダイオキシン (Ng-TEQ/m ³ N)	ばいじん (g/m ³ N)	硫黄酸化物 (ppm)	塩化水素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)
0.025	0.015	15	<2	11